

# ほうゆう保育園の自己評価

## 令和元年度

令和2年3月28日

医療法人社団 鵬友会 ほうゆう保育園

- ・今年度 1 番大きな出来事は給食の変化であった。  
栄養士が途中退職したため募集をしていたが、採用に至らず委託給食に切り替えることとなった。法人の意向で12/16より日清医療食品（株）にお願いすることにし準備や話し合いを進めた。しかし、開始してみると園の希望が反映されず、なじめぬ味付けに残食が増えてしまった。改善するために何度も話し合いを持ったが変わることはなく2/15に解約。2/17より3/31までは安田物産（株）より子ども用の弁当を注文し給食とした。おやつは園で用意。牛乳、パン、果物、ヨーグルト等で賄う。  
同時に自園調理に戻すために栄養士を募集した。5名の栄養士が採用でき4/1の再開に向けて準備を進めているところである。  
保護者の皆様、子ども達には迷惑をおかけしてしまい申し訳なく思う。安全、安心な給食を提供できるよう努めていく。
- ・同様に保育士も中途退職者が出てしまったが採用が出来ず、夏の水遊びが十分にできなかった。採用の努力は続けながら、保育士の残業で賄ってきたが無理もあった。働き方改革も意識していきながら少しでも働きやすい職場となるよう考えている。年度末になってやっと採用の目途が立ってきた。職員の定着が子どもの最善の利益につながることを理解し、体制を整えていきたい。
- ・年が明けてから新型コロナウイルス感染症が流行ってしまった。流行の早い段階で希望が丘のクリニックで患者が出ていたため、健康状態の把握にはかなり気を付けて保育をしていた。休校要請が出たことから保育園もできる限り集団は少ない方が良く考え、保護者の方にはできる限りの家庭保育をお願いした。子持ちの保育士が多いことから休む職員も出ており、家庭保育の協力は大変ありがたいことであった。インフルエンザ、ノロウイルスの流行もなかった。このまま健康に過ごしたいと思う。